

ナス科遺伝資源収集・保存のためのベトナム探索

品目	省 地区 自治体	品目数										合計
		Cao Bang						Tuyen Quang				
		Bao Lac						Na Hang				
		BaoToan	HungDao	HongTri	CoBa	ThuongHa	HuyGiap	Davi	HongThai	YenHua	KhauTinh	
アマランサス			1									1
ツルムラサキ			1									1
冬瓜									1			1
カラシナ									1			2
アブラナ科							1				1	1
トウガラシ(アニューム種)		1		1			2	1	1			6
トウガラシ(フルテッセンス種)		3	5	4	1		4	3	3	5	5	33
カボチャ			4	1			3		3		1	12
大豆					2							2
フジマメ				1								1
ヘチマ				1						1	1	3
バジル				1								1
インゲンマメ			1		2		4					7
シカクマメ										1		1
ナス				3				1	2	1	2	9
イヌホオズキ				2								2
ナス科											3	3
緑豆								1				1
タケアズキ				1		1						2
ササゲ											1	1
ジュウロクササゲ				2					1		1	4
合計		4	10	19	5	1	14	6	12	8	15	94



写真1 完熟果が黄色のトウガラシ



写真2 山岳地帯での探索

野菜における病害抵抗性品種の育成には、多様な有用特性を持つ可能性のある海外の遺伝資源を導入する必要があります。

また、「みどりの食料システム戦略」に掲げる総合的な病害虫管理体系の確立・普及においても、抵抗性品種の導入は体系確立のために必要な技術として位置づけられています。今回は、センターニュース112号で紹介しました2022年のラオスでの遺伝資源探索に続き、2023年のベトナムでの探索についてご紹介します。

遺伝資源探索は、ベトナム北部の2地区、10の自治体でトウガラシ類を中心に行い、

日本では見ることができない多様性豊かな系統や、過酷な環境下で生存する系統など遺伝資源94点を収集することができました(表、写真1、2)。

今後は関係機関と連携して、収集された海外遺伝資源の特性解明を行い、有用な特性が確認できれば、高知県での育種素材として利用します。

本探索は、令和5年度農林水産研究事業委託プロジェクト研究「植物遺伝資源の収集・保存・提供の促進」(PGRAsia)の研究課題で実施されました。

(園芸育種担当 尾崎 耕 088-863-4916)